

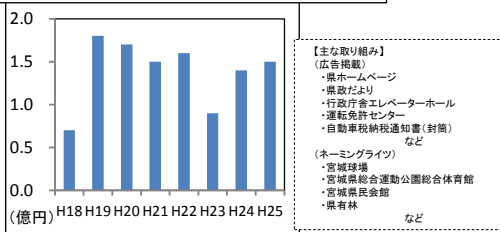
財政健全化へのこれまでの取り組み

これまでも15年に渡り、不断の努力を重ね、総額で、5,665億円に及ぶ財源を確保し、各年度の財源不足を補いながら、責任ある予算編成を続けてまいりました。その上で、財政再生団体への転落を回避しつつ、健全な財政運営を行っています。

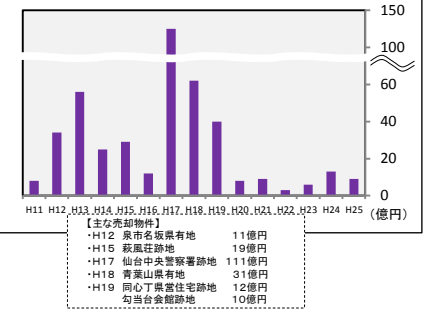
財政危機宣言 (H11)

歳出構造改革等 (H11~H13)	515 億円	・事務事業見直し 199億円 ・投資的経費抑制 132億円	・人件費削減 142億円 ・歳入の確保 42億円
財政再建推進プログラム (H14~H17)	988 億円	・行政のスリム化 114億円 ・事務事業見直し 540億円	・財政健全化債 189億円 ・歳入の確保 145億円
新・財政再建推進プログラム (H18~H21)	3,038 億円	・行政のスリム化 442億円 ・事務事業見直し 975億円	・公債費平準化 420億円 ・歳入の確保 1,201億円
第3期財政再建推進プログラム (H22~H25)	1,124 億円	・人件費の抑制 133億円 ・事務事業見直し 521億円	・公債費平準化 49億円 ・歳入の確保 421億円

広告掲載・ネーミングライツ売却収入の推移 (一般会計決算ベース)

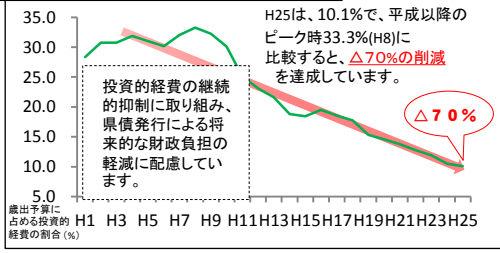


土地売却収入の推移 (一般会計決算ベース)

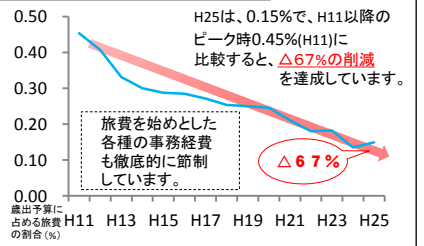


※ネーミングライツ=公共施設の命名権を指す。ネーミングライツの売却は、施設の命名権、企業等に、一定の条件下、売却し、収入を得ることを目指す取り組みである。

投資的経費の推移 (一般会計当初予算ベース)



旅費の推移 (総会計当初予算ベース)



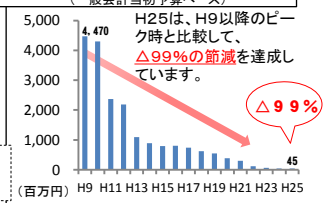
シーリング率の推移 (単位: %)

継続的な経費について、一定の削減割合を設定することで、事業の新陳代謝を促すような体制を確立しています。

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
一般的経費	△10 ~△5	△10	△5	△11.3	△1	△10 ~△3	△5 ~△3	△30	△10	△10	-	△5	△3	△5	△5
公共事業経費	△30 ~△20	△10	△5	△20 ~△15	△5.5 ~△3	△5	△5 ~△3	△5	△5	△10	△10 ~△5	△5	△4	△25 ~△20	△10 ~△5

※シーリング=予算要求額の限度額を指し、要求の厳格化と歳出予算の膨張を防止する目的で設定される。宮城県では、シーリング率として一定の減額率を前年度歳出予算額に乘算することを通して、当年度要求額の限度額を決定している。

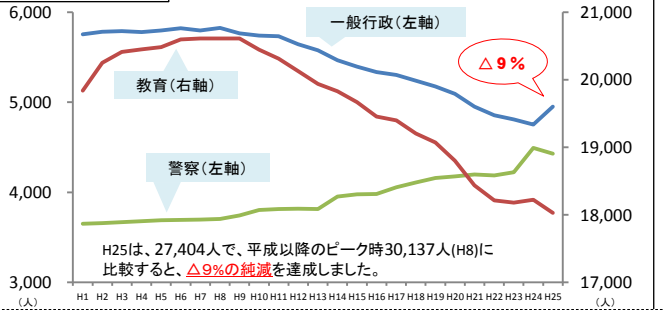
公共事業単独かさ上げの推移 (一般会計当初予算ベース)



独自の公共事業は積極的に削減しています。

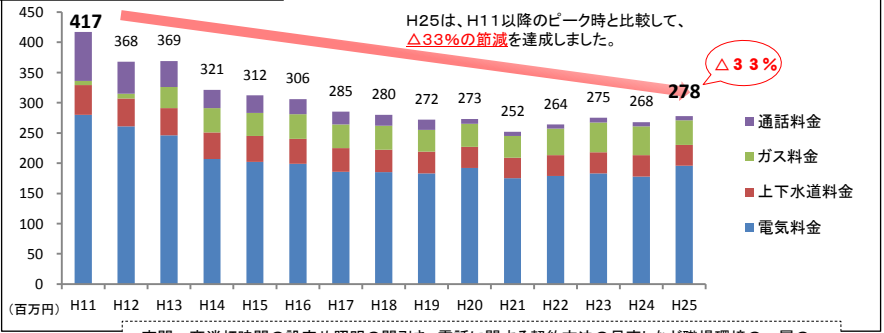
財政健全化への不断の努力

職員数の推移



行政のスリム化や業務の効率化を図り、適正な人員配置を続けることで、教員や警察官など法令で定数の設定がある中、職員数の削減などに努め、人件費総額の抑制を進めています。

本庁舎管理経費の推移



みやぎ財政運営戦略 (平成26年度~平成29年度)

- ・財政の健全化と持続可能な財政運営の実現
- ・迅速かつ創造的な復興のための予算の重点配分の実現